

み ら い
代 表 質 問

議会事務局
処 理 欄

令和4年8月16日 12時00分 受付

質 問 順 位 第 1 番

武豊町議会議長 石原 寿朗 殿

武豊町議会議員 久野 勇

一 般 質 問 の 通 告 に つ い て

令和4年第3回武豊町議会定例会において、次のように質問したいから通告します。

質 問 事 項	質問の要旨(具体的にご記入願います)
1. 地域の自主防災会の防災対応について	<p>【趣旨説明】</p> <p>近年では、世界的な温暖化により世界各国で、今までに経験のない降水量や気温の上昇による災害が発生している。</p> <p>また、何時発生してもおかしくないと言われている東南海地震への減災に向けた取組を常に考えていかなければいけない。</p> <p>そのために、区が主体となり活動する自主防災会や、有志による防災ボランティア等が結成され防災訓練等を定期的実施し、減災への啓発活動や被災時の地域での行動確認により、災害に備えている。</p> <p>しかしながら、地域防災・減災を担っていただく区の自主防災会は、区加入者の減少や個人情報保護など様々な要因により活動が制限され、実際に被災した時にどのくらい機能できるのか不透明な部分もあり不安に感じることもある。</p> <p>更に、避難所においては、地震発生時を想定した開所訓練が多く、備品も地震を想定したものに偏っていると思われる。しかし、現状においては、コロナ対策など幅広い対応への備えが必要であると考え。また、収容人数も現時点での収容人数では限界があり、状況に応じて一時避難所や身近な公園などを活用した臨機応変な対応が必要であると考えられる。</p> <p>また、災害発生時に使用する為の工具や資機材を保管してある防災倉庫も各区で保管管理しているが、災害時にスムーズに運用出来るかとても不安に感じることもある。</p> <p>加えて、高齢者や障がいのある方に対する要支援者名簿については、効果的に迅速な対応が可能なのか区の防災関係者内で、運用方法を再考する必要性が話し合われている。</p> <p>このような状況下の中、多岐に渡り、今できる防災・減災について再度、地域の自主防災会の活動支援を細部にわたり見直す必要が有るのではないかと思います以下の質問を致します。</p> <p>【質問事項】</p> <ol style="list-style-type: none">① 災害時、区の自主防災会との協力体制が非常に重要と考えるがどのような体制を構築されているのか。② 自主防災会が実施する防災訓練について、参加者数の目標や目的について、町として助言等はされているのか。③ 区が組織している自主防災会の活動については、区に未加入の世帯は活用出来るのか。④ 発災・被災時は、区や民生委員、防災ボラなどとの住民の皆さんの関わりが非常に重要と思うが、それぞれの役割を住民の皆さんへ周知されているのか。⑤ 災害発生時の高齢者や障がいのある要支援者への対応は、どのような対応がされると考えられているのか。⑥ 災害の状況に合わせた避難所の運営に現状の避難所計画を改善していく必要があると思うがどのように考えられているのか。